



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月31日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 スクロール
コード番号 8005 URL <https://www.scroll.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴見 知久
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営統括部長 (氏名) 杉本 泰宣 TEL 053-464-1114
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	21,698	3.2	1,689	△25.6	1,836	△20.8	1,231	△21.5
2025年3月期第1四半期	21,034	1.2	2,270	10.4	2,317	10.2	1,568	7.2

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 1,320百万円 (△22.3%) 2025年3月期第1四半期 1,699百万円 (△7.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	35.78	—
2025年3月期第1四半期	45.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	54,480	37,069	68.0
2025年3月期	56,032	36,470	65.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 37,069百万円 2025年3月期 36,470百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	24.00	—	27.50	51.50
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	29.50	—	29.50	59.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,000	1.2	5,800	△4.2	6,000	△6.6	4,000	△6.3	115.70

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	34,629,200株	2025年3月期	34,415,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	3,161株	2025年3月期	1,261株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	34,414,661株	2025年3月期1Q	34,253,777株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算説明資料はT D n e t で同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善や訪日外国人の増加によるインバウンド需要の拡大等により、緩やかな回復基調にあるものの、米国の通商政策をめぐる市場の変動や中東における地政学的リスクの高まりなどにより先行きは不透明な状況が続いております。小売業界におきましては、食料品を中心とした継続的な物価高騰に伴い、実質賃金のプラス基調は定着しておらず、生活防衛意識の高まりにより消費マインドは低下し、個人消費活動は引き続き厳しい状況となっております。通販業界におきましては、成長率が鈍化しているなか、参入企業の増加に伴う業種・業態を越えた競争が激化しております。

このような環境のなか、当社グループは、中長期ビジョンに「真のMSC（マーケティングソリューションカンパニー）になるために、マーケティングソリューション領域で独自性を磨く」を掲げ、ダイレクトマーケティング市場に限定せず事業領域の拡大に取り組むとともに、独自性の高いビジネスモデルを追求し収益力の向上を目指しております。2025年度におきましては、LPB（Logistics、Payment、BPO）に経営資源を集中し、「独自性を追求した収益力の強化」及び「機動性のあるResponsibility経営の推進」の二大重点方針に取り組むことで、当社グループの企業価値の向上に努めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高21,698百万円（前年同四半期比3.2%増）となりました。利益面におきましては、営業利益1,689百万円（同25.6%減）、経常利益1,836百万円（同20.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,231百万円（同21.5%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を一部変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）」をご参照ください。

なお、各セグメントの売上高につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

① ソリューション事業

ソリューション事業におきましては、ダイレクトマーケティングの事業運営に必要な不可欠な機能をワンストップで提供できることを強みとして、その提供先をダイレクトマーケティング市場に限定せず、あらゆる事業者を対象にマーケットの拡大に取り組んでおります。これに加え、顧客のニーズに合わせた付加価値の高いビジネスを展開することで、収益力を強化してまいります。物流代行においては、関東圏の物流ニーズの高まりを受け、関東エリア第3の拠点開設の準備を進めるなど、事業基盤の整備に努めてまいりました。マーケティングサポートにおいては、当社グループが保有しているノウハウを活用し、自社リテールの展開を拡大しております。決済代行においては、取扱高が堅調に推移する一方で、貸倒リスクの低減に向けた債権管理体制の再構築に努めております。

以上の結果、売上高は8,663百万円（前年同四半期比25.0%増）となり、セグメント利益は275百万円（同76.3%増）となりました。

② 通販事業

通販事業におきましては、春物・盛夏物商品の受注の獲得に苦戦したことにより、売上高は減少となりました。このような状況下においても最大利益の創出を目指し、在庫コントロールや販促費をはじめとする各種コストの削減・抑制など事業効率化を推進しております。

以上の結果、売上高は10,172百万円（同8.0%減）となり、セグメント利益は1,583百万円（同23.0%減）となりました。

③ eコマース事業

eコマース事業におきましては、2024年度から進めております事業リストラの完遂及び新たな収益基盤構築に向けたビジネスモデルの転換を推進しております。

以上の結果、売上高は3,148百万円（同7.8%減）となり、セグメント損失は77百万円（前年同四半期はセグメント利益29百万円）となりました。

④ グループ管轄事業

グループ管轄事業におきましては、自社保有物流施設等の不動産賃貸、当社グループの物流オペレーションを行っております。物流オペレーションにおいては、東海・関西・関東エリアにおけるセンター運営の強化を進め、安定的な運営体制の構築に努めてまいりました。また、当社グループ内の取引だけでなく、外部顧客獲得に向けた営業活動にも取り組んでおります。

以上の結果、売上高は929百万円（前年同四半期比5.6%増）となり、セグメント利益は52百万円（同30.7%減）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は54,480百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,552百万円減少いたしました。この主な要因は、現金及び預金の減少、未収入金の減少、売掛金の増加によるものであります。

（負債）

負債は17,410百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,150百万円減少いたしました。この主な要因は、未払金の減少、未払法人税等の減少によるものであります。

（純資産）

純資産は37,069百万円となり、前連結会計年度末に比べ598百万円増加し、自己資本比率は68.0%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月7日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました2026年3月期の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,125	6,001
売掛金	11,863	12,509
棚卸資産	8,646	9,144
未収入金	10,154	8,960
その他	1,280	1,341
貸倒引当金	△1,391	△1,510
流動資産合計	38,679	36,448
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,697	5,644
土地	5,511	5,511
その他(純額)	672	636
有形固定資産合計	11,881	11,792
無形固定資産		
のれん	504	994
その他	601	572
無形固定資産合計	1,106	1,566
投資その他の資産		
その他	5,099	5,585
貸倒引当金	△734	△912
投資その他の資産合計	4,364	4,672
固定資産合計	17,352	18,031
資産合計	56,032	54,480
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,625	2,458
未払金	11,604	10,626
未払法人税等	1,362	547
引当金	665	220
その他	1,644	1,871
流動負債合計	17,903	15,724
固定負債		
引当金	52	54
退職給付に係る負債	1,423	1,443
その他	181	188
固定負債合計	1,658	1,686
負債合計	19,561	17,410

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,116	6,229
資本剰余金	7,045	7,158
利益剰余金	22,019	22,303
自己株式	△1	△1
株主資本合計	35,180	35,689
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,180	1,326
繰延ヘッジ損益	40	△7
為替換算調整勘定	69	59
その他の包括利益累計額合計	1,290	1,379
純資産合計	36,470	37,069
負債純資産合計	56,032	54,480

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	21,034	21,698
売上原価	11,873	12,245
売上総利益	9,160	9,453
販売費及び一般管理費	6,890	7,763
営業利益	2,270	1,689
営業外収益		
受取利息	4	14
受取配当金	47	55
為替差益	—	29
債務勘定整理益	12	15
償却債権取立益	12	15
その他	27	19
営業外収益合計	104	150
営業外費用		
支払利息	2	3
為替差損	49	—
その他	4	1
営業外費用合計	57	4
経常利益	2,317	1,836
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	2,317	1,836
法人税、住民税及び事業税	605	510
法人税等調整額	143	94
法人税等合計	749	604
四半期純利益	1,568	1,231
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,568	1,231

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	1,568	1,231
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	140	146
繰延ヘッジ損益	△18	△47
為替換算調整勘定	9	△9
その他の包括利益合計	131	89
四半期包括利益	1,699	1,320
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,699	1,320
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソリュー ション 事業	通販事業	eコマース 事業	グループ 管轄事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	6,601	11,052	3,372	8	21,034	—	21,034
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	326	0	43	871	1,242	△1,242	—
計	6,927	11,052	3,416	880	22,276	△1,242	21,034
セグメント利益 又は損失(△)	156	2,056	29	75	2,318	△0	2,317

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、未実現利益等△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ソリューション事業」において、当第1四半期連結会計期間に株式会社ビーボーン的全株式を取得し、当社の連結子会社となったことから、のれん630百万円を計上いたしました。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソリュー ション 事業	通販事業	eコマース 事業	グループ 管轄事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	8,361	10,172	3,117	47	21,698	—	21,698
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	301	0	30	882	1,214	△1,214	—
計	8,663	10,172	3,148	929	22,913	△1,214	21,698
セグメント利益 又は損失(△)	275	1,583	△77	52	1,834	1	1,836

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、未実現利益等1百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来「グループ管轄事業」に含めておりました海外子会社1社について、社内マネジメント区分の変更に従い、当第1四半期連結会計期間より「通販事業」に含めて表示しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ソリューション事業」において、当第1四半期連結会計期間にZonExpert株式会社の全株式を取得し、当社の連結子会社となったことから、のれん548百万円を計上いたしました。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	236百万円	211百万円
のれんの償却額	31	58